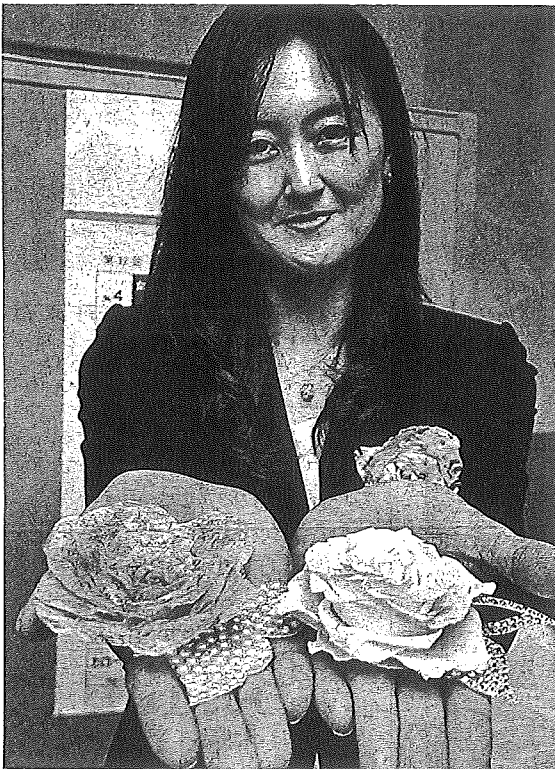


カローレ

越前和紙でボディジュエル

花嫁を美しく



越前市帆山町のブラ イタル企画会社「カローレ」が、越前和紙を 使った全国初のボディジュエルを発売し、素肌 に繰り返し貼って使える シール感覚の新しいアクセサリ。着物のドレスなど花嫁衣装の多様化を受け、同社は「花嫁を

美しく彩るとともに、を隠す特殊メークを手 掛けた。その上から高級ガラスを使った ボディジュエルを貼り付けていたが、濃いあざと、ジュエルの隙間からかすかに見えてしまふこともあるとい

望。同社は挙式を控え、越前和紙を使うこと でふわっとした立体感を出て、あざなどを完

越前市の会社 全国へ発信

全に覆う。花びら形に切り抜いたすき織りの和紙を、手作業で組み立てていく完全オーダー制。「和」つながりで、着物ドレスとも調和する。

「和紙は自分でできなくても、使用後は記念品として形に残せて、繰り返し装着も可能。コサージュにアレンジもできる」と、代表の山下真澄美さん(四三)。

花を特殊液に沈めて水分を抜いた「プリザーブドフラワー」を使ったタイプとともに、三月から発売し、予約が相次ぐ。価格はアフターサービスなど込みで三万三千円から。問い合わせは同社へ電話 0778(42)5327 へ。

(北原愛)

越前和紙を用いたタイプと、プリザーブドフラワーを用いたタイプのボディジュエル。福井市の福井商工会議所ビルで